

第2回夕張市庁舎整備検討委員会 意見交換概要

R4.9.1 18:30～ 拠点複合施設りすた 多目的ホール

<庁舎整備地区の選定案について>

- ・市庁舎は、市民が安全にアクセスできて機能的であることが重要であり、南清水沢地区の都市機能誘導区域内に市庁舎を建てるのは効率的だと思う。
- ・今後、市全体としてどのような機能をどの地区に配置していくかが重要だと思う。
- ・りすたの近くに市庁舎があると便利だが、逆にデメリットも考えた方がいい。
- ・ロードマップに設計発注の時期なども入れてもらえれば、検討の指標になると思う。
➡（市の回答）事業全体の想定スケジュールを、次回の検討委員会でお示ししたい。
- ・将来の商業インフラの拡張性なども踏まえて議論していった方がいいのではないか。
- ・南清水沢の都市機能誘導区域内が望ましいと考えるが、満足な面積が確保できるか。
- ・メリット・デメリットをオープンにして比較検証するとよいのではないか。
- ・地区選定の観点からすると、南清水沢地区が合理的という印象である。
- ・今後、建物、敷地など具体的にイメージできるような資料を示してもらいたい。
- ・本庁地区のお年寄りがどうやって南清水沢地区に行くのか。また、一度行ったら帰るためには2、3時間バスを待たなければならない。庁舎が移転した後の方が心配である。
- ・本庁地区からいかに南清水沢地区に行きやすくするか。庁舎を建てることだけを考えるのではなく、どうアクセス性を確保するのかを考える必要がある。
- ・市庁舎は都市機能誘導区域内というのが、客観的に見ても有力なのかなと思う。
- ・りすたと新庁舎の機能をうまく差別化して、どちらも生きるような形にしてもらいたい。
- ・南清水沢に都市機能が揃ってくると、北部（本庁地区や若菜地区）が寂しくなる。計画されてはいないと思うが、診療所の中に支所機能があると便利だと感じた。

- ・新庁舎が完成するまでの間の現庁舎の修繕計画はどうなっているのか。
 - ➡（市の回答）修繕は発生主義という方針で実施している。新庁舎を建設することになれば、現庁舎については、市役所機能を維持することを前提に、最低限の維持修繕のみを行うことになる。
- ・市庁舎の他にも解体すべき建物があると思うが、解体の優先順位はどのように考えているのか。
 - ➡他にも解体すべき建物があるのは理解しているが、一方で、国の補助事業において建設と解体を一体的に行うことで補助が受けられる場合もあり、少しでもお金をかけないやり方を検討する必要もあると考えている
- ・20年後に残るのは農業人口だと思うので、沼ノ沢に建てた方がよいのではないか。
- ・本庁地区に住み続けたい人が5割というアンケート結果は、市役所が移らない前提での結果だと考える。
- ・診療所が若菜、市役所が南清水沢となると、本庁地区の商売が難しくなる。本庁地区のケアを考えながらの検討が必要ではないか
- ・庁舎移転は市の頭脳が移るということだが、ケアが全市対象であることに変わらない。
- ・立地適正化計画で都市機能を集積していくことを決めたのは、今後、各地区のケアを細かくしていくには、拠点となる地区が複合的で、機能が集積されていて、最も効率的であることが、地域とネットワークで繋いだ時にいろいろな手立てを考えられるから。南清水沢地区で考えるのは妥当ではないか。
- ・りすたを含めた周辺施設の使われ方の検証、新庁舎ができたときの役割分担などの検証があるといい。
- ・いろいろな思いがあり多くのご意見をいただいたところだが、移転先の適地として「南清水沢」の中で考えさせていただきたいと思うがよろしいか。 【➡意見等なし】